

令和 8 年度 愛西市水道料金等検討委員会会議録（概要）

会 議 名	令和 8 年度 第 1 回愛西市水道料金等検討委員会
開 催 日 時	令和 8 年 6 月 1 7 日（水） 午後 2 時から午後 3 時 3 5 分まで
開 催 場 所	愛西市役所北館 2 階 会議室 2－1、2－2
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	0 人
協 議 事 項 等	(1) 第 2 次愛西市水道ビジョン及び経営戦略について (2) 愛西市水道事業の理想像と目標設定 (3) その他
公開／非公開の別	公開
傍 聴 人 の 数	0 人
会 議 資 料	・ 委員会次第 ・ 令和 8 年度愛西市水道料金等検討委員会委員名簿 ・ 資料 1 愛西市水道料金等検討委員会設置要綱 ・ 資料 2 愛西市水道事業基本計画抜粋「平成 27 年 3 月発行」 ・ 資料 3 愛西市水道事業の理想像と目標設定 ・ 参考資料 1 愛西市新水道ビジョン 2015～2024 年度 ・ 参考資料 2 愛西市水道事業経営戦略
審 議 経 過	別紙のとおり

令和8年度 愛西市水道料金等検討委員会委員

役 職	氏 名	要綱号番号(選出区分)・備考
会 長	齊藤 由里恵	第1号
委 員	岩間 千晃	第1号
委 員	住田 宣子	第1号
委 員	水谷 真也	第1号
委 員	飯尾 亜紀子	第2号
委 員	加藤 誠	第2号
委 員	田中 智行	第2号
委 員	寺島 智美	第2号
委 員	原田 玲子	第2号
委 員	水谷 永	第2号・会長職務代理者
委員会設置要綱 第3条 第1号 識見を有する者 第2号 愛西市水道事業の給水区域内の給水使用者 第3号 その他市長が必要と認める者		

事務局（愛西市役所 上下水道部上水道課）

氏 名	氏 名	氏 名
上下水道部長 山田 英穂	上水道課長 青木万亀雄	上水道課長補佐 渡邊 達也
上水道課長補佐 吉田 征史	上水道課長補佐 橋本 重樹	

第2次愛西市水道ビジョン及び経営戦略策定業務委託受注者（新日本設計㈱名古屋事務所）

氏 名
所 長 平松 篤史

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
上下水道部長	1. あいさつ 本日は、公私とも何かとご多用の中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。また、日頃より市行政並びに水道事業にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 本市の水道事業は、市民生活や産業活動を支えるライフラインとして、安全で安心な水を安定的に供給することが最も重要な使命であると認識しています。しかしながら、全国的な課題と同様に、水道事業を取り巻く環境は、年を追うごとに厳しさを増しています。 具体的には、昭和40年代後半以降に整備された浄水場や水道管の老朽化に伴う更新需要の増大、さらには人口減少による給水収益の減少が見込まれる中、施設の維持管理や災害対策、そして安定供給の継続には、多額の費用を要します。 水道料金においては、令和6年4月より八開地区、佐織地区の料金改定を施行しました。基本料金は統一しましたが、従量料金の一部で格差是正には至っていません。また、改定後に愛知県企業庁の水道購入費の値上げがあり、前回の検討委員会では料金に反映することができませんでした。 これまでも、コスト削減や業務の効率化に取り組み、経営の健全化に努めてまいりました。しかしながら、中長期的な視点に立ち、将来にわたって持続可能な水道サービスを提供し続けるためには、現在の料金体系のままでは経営の安定を維持することが困難な局面を迎えています。 もう一つの取り組みとして、望ましい海部南西部地域の水道のあるべき方向性を見出すことを目的とし、昨年12月に海部南部水道企業団及び蟹江町と水道広域化勉強会を設立しました。将来の見通しや様々な水道広域化の形態に関することなどを研究し、できることから前へ進めたいと考えています。 本日の委員会については、事務局より水道事業基本計画を基に現状と課題などについて説明させていただきます。2回目以降は、料金改定案や井戸水の将来像について、お示ししたいと考えています。 委員の皆様には、このような背景を踏まえ、水道料金のあり方、水道ビジョン及び経営戦略の見直しなど、市民生活に直結する非常に重要な内容を、専門的なお立場や、それぞれの地域や団体を代表されるお立場から、客観的かつ公平・公正な視点と忌憚のないご意見によりご審議を賜りたいと存じます。 本委員会は、今年度に5回程度を予定しており、タイトなスケジュールの中、大変お世話になります。そして、実りある一年になりますように、精一杯努めてまいります。 委員の皆様におかれましては、どうぞよろしくお願い申し上げます。
事務局	2. 会長の選出 委員互選により、齊藤由里恵委員が会長に推薦され、全委員が賛同し、会

会長	長が選出される。 その後、水谷永委員が会長職務代理者として会長より指名される。 3. 会長あいさつ ただ今、会長に選出いただきました中京大学の齊藤です。よろしくお願いします。 水道事業が抱えている課題というものは、重大な物である認識をしています。一方で、市民にとっては、いつ何時でも使えるという認識があるかと思っています。その陰には、水道事業がかなりの投資を行っていますし、守るべき日ごろの努力というものもある所と思います。 水を飲めるようにするのに、かなりのエネルギーが使われています。 日本の産業の1%位が、水道事業のエネルギーとして使われているといった推計もあります。ですので、エネルギーという所も含めて、ゼロカーボンという所も進めている所でもございますし、世界的な流れという所も一つありますし、日本においては、原油高によるエネルギーコストが水道事業をひっ迫している要因となっています。水道という所で色々な視点で考えていけないといけないという所でございます。 今回、資料も事前に配布されておりますが、特殊で耳なじみの無い言葉がたくさん出てきますので、説明が分かりにくいとか、こういったデータがあるとわかりやすいとか、この部分についてもう少し説明してほしいとか、皆様の忌憚のないご意見をいただけたらと思います。 この場が活発な議論の場になるように、私の方も進行を担っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
事務局	4. 協議事項 協議事項の進行につきましては設置要綱第5条の規定に基づきまして会長の方で、議事を進めていただきますようお願いいたします。
会長	協議事項の(1)第2次愛西市水道ビジョン及び経営戦略について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料2 愛西市水道事業基本計画抜粋「平成27年3月発行」に基づき説明】 ○説明の要旨 ・平成27年3月に発行の愛西市水道事業基本計画を抜粋した形で作成し、愛西市の概要、実績、課題について説明を行った。
会長	事務局から説明がありました。確認ですが、P.2～P.16までが10年前に基本計画、ビジョンを立てる上で現状を整理した所で、それに対して、P.17からが収支のギャップを解消したり、資本の再構築という所の見直しが必要であるという所でP.18、19に課題を挙げ、説明いただいたという所ですね。 確認ですが、問題を解決しようと経営戦略を策定して実施し、数年経った

	今現在の説明は、次に説明があるという理解で良かったですね。 ここまでの所で、皆様からご質問等ありましたらお願いいたします。 経営戦略、ビジョン、基本計画の位置付けを簡単に説明いただけますか。
事務局	基本計画、新水道ビジョンは平成26年度に策定され、令和6年度に改定予定でしたが、令和6・7年度に浄水場の基本設計を行っています。その中で、10年前の資料であるため、浄水場の更新にどれくらいの費用が掛かるのかという所を基本設計の中で精査したところです。精査する前に、基本計画を改定すると、令和6・7年度に実施した基本設計の成果が反映できなくなるので、水道ビジョン等の改定を遅らせることとしました。 また、現基本計画、水道ビジョンの内容が重複していることもあり、現状を説明させていただきました。次の協議事項として、理想と目標について現状と比較しながら、説明をします。水道事業として、具体的な方針が出ていない中、委託業者も交えて提案を出していきたいと考えています。
会長	参考資料1のP.2 ビジョンの位置づけについて説明いただけますか。
事務局	新水道ビジョンP.2 を読み上げる。
会長	水道ビジョンは水道の理想像なところを明示したものになります。国が出している指針と、それぞれ自治体ごとに環境等が異なることがあります。例えば、人口が減少であったり、整備を少しずつ行っていたり、地域の特性、事業規模などの実情に合わせて作成し、その部分については、愛西市の総合計画にも含まれていますので、愛西市として将来の水道が目指す方向性を掲げているものがビジョンです。基本計画はビジョンをより具体化した物になり、それを10年前に出されたということです。 基本計画は水道事業を行う上で、指針となる部分ですので、重要な所ということをお説明いただきました。 ここまでの所で、何かご質問いただきたいと思います。
会長	愛西市の実情をお伺いしますが、八開地区、佐織地区で県からの用水供給と自己水供給は、愛西市水道事業全体における供給割合はどれくらいですか。
事務局	水道事業全体で県水75%、自己水（井戸水）25%になります。八開地区は、井戸水を休止しているため、県水100%で供給しています。
会長	その他に何かございますか。
委員1	冒頭の話の中で、海部南部水道企業団を目指す話がありましたが、何か海部南部水道企業団がやられていることに実績が上がっていて、地域の特性が似ているから、そこを目指すという話だったのか、お聞きします。

事務局	全国的に水道広域化が求められています。上下水道一体という話も勧められています。愛知県の中では、三河地区でモデル地区を設置し、推進しています。尾張地区では具体的な目標は立っていない状況です。愛西市としては、4地区あり、佐屋・立田地区を海部南部水道企業団が管轄し、同じ市内の中で、料金体系が異なっています。 また、人材と資金が不足している状況です。 海部南部水道企業団との勉強会を立ち上げ、最終的には事業統合が理想かと思いますが、最短でも10年はかかると思われます。勉強会にて研究し、できる所から進めて行きたいと思っています。
会長	こちらの件については、後ほどご質問やご意見がありましたらいただくこととしまして、つづきまして、協議事項の（2）愛西市水道事業の理想像と目標設定について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料3 愛西市水道事業の理想像と目標設定に基づき説明】 ○説明の要旨 ・「安全な水の供給体制の確立」「強靱な水道施設の構築」「持続性のある水道」を施策目標とし、現状の管路の状況や給水人口の推移、各収支の実績を踏まえ、厳しい経営上状況が続くことを説明し、水道事業が給水収益ですべてを賄う必要がある独立採算であること、近年の物価高騰の影響で収支均衡が保てないこと、財政計画、投資計画を立てる中で料金改定を行うことも課題解決の選択肢であることを説明した。
会長	協議事項（1）の平成25年までの続きとしまして、最近の状況を含めて説明いただきました。皆様、何かご質問やコメント等ございましたら、お願いします。
委員2	令和6年に料金改定をされたということですが、直近の令和7、8年の収支の状況はわかりますか。料金改定を行って、どれだけ計画に対して沿っているのかがわかる資料はありますか。
事務局	令和7年度決算は作成しています。令和6年4月に料金改定を施行させていただきましたが、愛知県企業庁から県水を購入している費用が、料金改定後に値上がりをしたこともあり、収支で赤字となっている状況です。
委員2	企業庁から送られてくる水の料金が上がった分の比率は、何割ぐらい上がったのか。計画で出した数字との開きはどうか。どのくらい足りてないのか。次回までにそのあたり教えてください。
事務局 委員3	次回の資料でお示しします。 資料3のP.5 目標年次が令和6年となっていますけど、既に目標年次を

	過ぎていますが、改定も含めての検討ということによろしいですか。この辺の続きはどうなりますか。
事務局	策定した基本計画の最終年度が令和6年度です。P.5の表に書かれているのは、当時の計画の最終年度の数値が書かれています。 今回、浄水場更新等の基本設計により、令和6年度に実施すべき基本計画の改定を遅らせています。
委員3	通常の計画ですと、何年か先の目標設定があると思いますが、目標年次は過ぎていきますけど、これから目標を定められるのか。
事務局	改めて、今回検討させていただき、計画を委員の皆様にお諮りして、10年後の計画を立てたいと考えています。
委員3	こちらの表は現状ということでしょうか。
事務局	そうなります。
会長	資料3でご説明いただいた所で、P.2～5までが水道ビジョンや基本計画に基づいて各目標を定めたものを列記されている理解で良いですね。 平成25年までの現状を受けて水道事業の課題として、いくつか挙げている所をより施策に落としたのが、資料3のP.2～4というような所でよろしかったでしょうか。 皆様に議論していただく時には、今後、施策目標に対してどのように達成しているかとか、今の時点で考えなくて良い情報もありますし、新しい課題も出てきている所も、施策目標として追加したりとか、その辺り皆様に議論いただく形でよろしいでしょうか。
事務局	今回の資料では、委託業者を交えて作成していきます。最初に説明させていただいた基本計画抜粋の課題部分と資料3での課題部分は同じです。具体的な状況というのは、詳細に書かれているのですが、実際ここに記載していないものを新たに課題として挙げていく部分が出てくると思います。今回の委員会でお示ししていきたいと考えています。 10年以上経過していますので、変わっていると思います。その辺りもご審議いただきたいと思います。
会長	先ほど、委員からもご発言がありましたけど、県水の値上げによってどのくらい経営環境が変わったのか、令和7年度決算はこの秋に確定しますか。
事務局 会長	決算審査が終わって、確定する形になります。 ある程度のところまで進んでいると思うので、その辺り含めていただいた

	り、もう一つ、今日管路の状況をご説明いただきましたが、ダグタイル铸铁管や配水ポリエチレン管に移行させたとか、耐震化を見据えてやってきている部分と、計画はしたけれど進んでいないとか、経営戦略との乖離の部分、投資的な乖離もそうですし、あとは、財政的な所で特に県水の所があるかと思えます。経営戦略自体は常に見直していくものだという所がありますので、乖離が出ていたり、その都度どのようにしていくのかという所を考えていくものであると思いますので、こういった乖離が出てきたとか、計画的に進んでいるような部分の説明をいただけると、あと、新しく出てきたような課題とか、耐震化とか上下水道一体で計画を出している話もあったりして、その辺りの考え方は、前回無かったような感じがしたので、入れてないといけなかなと思います。その辺りも含めて少しご説明いただけると良いかなと思いますのでよろしくお願いします。
委員 3	地区によって下水道工事を行っています、併せて水道管の耐震化も行っていますか。
事務局	昨年度までは、佐織地区の公共下水道工事を進める中で、同じ路線の老朽化した水道管を同調工事で施工しています。 その場合に、舗装復旧での経費削減を図っています。 佐織地区での公共下水道工事は一通り終わりました。計画が進んでいない浏高地域が残っている状況です。 今年度の水道事業としては、単独事業となります。経営戦略の中で毎年 3,000m を更新することがうたわれていますが、100% 企業債の借入で進めている中で、目標数値が達成できていない状況となっています。 今後、浄水場の更新等を考えると、目標 3,000m は厳しくなってくると思います。経営戦略の見直しの中で、3,000m 更新が妥当であるかも議論をしていく必要があると考えています。
会長	そういう所も含めて柔らかに出していただけると良いかなと思います。 耐震化率、更新化率の話って、延長に対してですね。口径が小さくてコストがかからない管であっても、相当コストがかかる管であっても、そこに反映しにくいとか、よく言われるところなので、愛西市としてはこういった優先順位でやっているのかという事とか、耐震化率、更新化率の数字については、やることはやっているけど数字に反映されてこないとか、課題を共有させていただけたらと思います。 資料 3 P.15 の収益的収入と支出にはギャップがあります。これ問題なのですが、もう一つ問題なのが、収益的収入の所を見ますと、そこまで問題なさそうに見えますが、営業収益が落ちています。ここでご説明いただく時には、一般会計の補助金であるとか繰入とか、本来どういった所まで行かないといけなとか、その辺りで企業会計特有の所があったりとかします。ここで言うと収支ギャップ（赤囲み）の所だけギャップを解消すれば良いとか、

	損益もプラスになっていれば収益上がっているのでは良いとか、と思いますが、水道事業は違います。プラスになっていたとしても、営業収益でプラスになっていればまだ良いのですが、それ以外の項目でプラスになっているとか、その辺りをもう少しご説明いただけるとより考えていけるかと。出せる資料は出していただいて、色々のご説明いただけたらと思います。 営業収益も、消費税のタイミングでも少し上がったりはしますが、愛西市の場合だと給水人口の影響がすごく大きいと思いますので、その辺りのご説明を含めていただけると良いかと思います。 今回は、触りという所で、皆さんにこういったところを議論していただきますという内容かと思います。議論する上で水道事業難しい所が沢山あるので、そういう所を意識していただけると良いと思います。
委員 4	資料で佐織、八開の人口とか示していただけていますが、P. 15 の収益的収支は、佐織地区、八開地区をまとめた集計となっています。資料で、佐織地区、八開地区別の人口の表記はありますので、各々の収益についてはどこを見たら分かりますか。
事務局	水道事業として、佐織地区、八開地区を分けていないのですが、全体の数字を挙げるときには、佐織地区、八開地区の数字も出しています。合算する前の資料を提供させていただきます。
委員 4	料金を考える上で、そういったところも参考の資料になってくるのではないかと思います。
会長	耳なじみの無い言葉が出てきますので、ビジョン、経営戦略の後ろのページの用語集に書いてありますので、参考にしてください。もし不明な点ありましたら、事務局に質問していただけたらと思います 協議事項（3）その他について 事務局より説明をお願いします。
事務局	次の開催につきまして、第2回委員会は、令和8年8月20日（木）午後2時から 愛西市文化会館3階大研修室 第3回委員会は、令和8年10月9日（金）午後2時から 愛西市役所北館3階 災害対策本部兼鍵室1・2で行います。
会長	本日の協議事項はすべて終了しましたが、これまでの所で何かありますかでしょうか。 本日は、これで終了させていただきたいと思います。
事務局	それでは、これをもちまして令和8年度第1回愛西市水道料金等検討委員会を閉じさせていただきます。長時間にわたりありがとうございます。